

愛顔 かがやけ 池島魂



～「今日も楽しかった。明日も楽しみ。」と思える学校を目指して～

発行：令和8年8月9日（日）NO11 文責：校長 津田 幸一

学校 HP URL <https://www.nagasaki-city.ed.jp/ikeshima-h/>

平和登校日 ～未来へつなぐ平和の尊さ～

本日は「平和登校日」です。

なんと！8月9日が登校日であるのは、全国で長崎県だけなのです。私は、大学生になって県外出身の友達が教えてくれるまでこのことを知りませんでした。そして、核兵器に対する思いについて、他県の方とはある程度の温度差があることを知りました。原爆投下の日を知らない他県出身の友人は意外に多くいました。

長崎で育っている子どもだけの登校日。「未来へつなぐ平和の尊さ」を学ぶ大切な機会です。

さて、平和登校日には、以下の意義があります。

- 戦争の悲惨さを知り二度と繰り返さない決意を新たに
- 被爆者の方々の体験を聞き、平和の尊さを学ぶ
- 平和のために自分たちにできることを考える
- 平和な社会を作るために、互いに協力する気持ちを育む

県内各学校でも、平和登校日当日や事前に行う活動として様々な取組が行われています。

長崎県の平和登校日は、単に戦争の悲惨さを知るだけでなく、未来へ向けに平和の尊さを伝えていくための大切な機会です。私たち一人ひとりが、平和のためにできることを考え、行動していくことが重要です。

ぜひ、ご家庭で話題としていただきたいと思います。

なお、本日は、小中学生の平和学習の発表を行いました。聞き手に平和への願いをしっかりと届けたいという思いをもって準備した内容です。

当日様子については、学校ホームページの「フォトギャラリー」に、近日中に掲載いたします。



1 学期終業式

7月17日（金）1 学期の終業式を行いました。

子供たちの1 学期の頑張りや、担任だけでなく関わったすべての教員が通知表に記した通りです。

子供たちが、一歩一歩前進し、成長したことを校長として誇りに思います。

終業式では、私から次のことを話しました。

<講話概要>

「ありのままの自分を大切にすしなやかさ」と「未来に向けて自分を高める挑戦」。

一見相反する2つの姿勢ですが、どちらも大切さであるということを伝えました。

将来、社会で健やかに活躍するためには、何よりもその土台となる「心と体の健康」が不可欠です。規則正しい生活習慣は、子供たちの心身を整える大切なエネルギー源となります。

ちょうど、今日の登校日が休みの折り返しです。

子供たちの生活リズムはどうでしょうか。

本人が意識できたら、とてもうれしいです。

ご家庭でも温かく見守っていただければ幸いです。残り期間も、有意義な夏休みをお過ごしください。

「自分のすることは、自分で決める」

大切な資質です。関わってこんな話があります。

「ロバを売りに行く親子」（イソップ童話）

父と息子でロバを町に売りに行きました。

通りの人が、「ばかな親子だ。息子をロバに乗せればよいのに」というので、息子をロバに乗せました。

しばらくすると、別の人が、「年長者を歩かせるなんて」というので、今度は息子が降りて、父親が乗りました。

さらに、別の人には「二人で乗ればよいのに」と言われたので、二人で乗りました。

町の近くまで来たとき、「二人で乗るなんてロバがかわいそう。ロバを担ぎなさい」と言われたので、その通りにしました。

ところが、あまりにロバが重くうまく運ばませんでした。

その結果、誤って、ロバを川に落としてしまい、死なせてしまいました。

このお話を子供たちはどう思うでしょうか。

私は「自分の考えをもつこと」の大切さを痛感します。人の話や意見に「聞く耳をもつ」ことは大切です。しかし、自分の考えがなく、人のいいなりになるばかりではいけないのです。

この童話がそのことを教えてくれます。それでは、どうしても、自分なりの意見を持ち、自主的に行動できる子どもにすることはできるのでしょうか。

本校では、「自己決定」をキーワードにした指導を行い、子どもに判断させる場面を多く仕組んでいます。ぜひ、ご家庭でも、そのようにお声掛けいただきますようお願いいたします。